



///総選挙/// 12月2日公示 14日投票

## 安倍政権の暴走政治にストップを!

国民の声が生きる新しい政治をめざして、日本共産党は今回の選挙で、政治の5つの転換を訴えます。

1. 消費税10%
2. 「アベノミクス」
3. 「海外で戦争する国」づくり
4. 原発再稼働
5. 沖縄新基地建設——からの転換をはかります。

このなかで、社会保障の拡充と財政危機打開を両立させる日本共産党の財源提案「消費税にたよらない別の道」を盛り込みました。

具体的には、二つの改革—(1)「能力に応じた負担」の原則をつらぬく税制改革(2)国民の所得を増やす経済改革—を通じて、合わせて40兆円の財源が確保できるとしています。

また、「政治とカネ」の問題をはじめとした政治腐敗の根源をただす方策として、企業・団体献金と政党助成金の禁止・廃止を正面に掲げました。安倍政権の暴走政治と対決し、政治を変えるたしかな力、未来に責任を負う政党としての日本共産党の値打ちを太く押し出しています。

### 原電東海発電所解体で発生

## 低レベル放射性廃棄物 L3の埋設計画に関する申し入れ

日本共産党北部地区委員会と村委員会は、原電東海発電所の解体で発生する低レベル放射性廃棄物 L3の埋設計画について、9月24日、村議会に示されたことを受け、「埋設ではなく、管理」計画とすべきとし、8項目にわたり実施を求めました。

本来放射性廃棄物の処理処分に関しては、国が決定すべきですが、未確立のままのため、これ以上放射性廃棄物が増える事業は行わないことが前提となります。また住民との合意基準を設けるなど、住民の安全とともに安心確保に最善を尽くすべきと求めました。

そして、L3保管にあたっては、後世にわたって住民に「L3の保管場所」と、分かるよう工夫すること。保管容器、保管庫などの安全確保と確認を万全にし、地下水、大気、住民、環境への影響が出ない構造とするよう求めました。



写真左:21日、村長に申し入れる福田明北部地区委員長、村議団



写真右:25日、原電に申し入れる福田明北部地区委員長、村議団

申し入れには、このほか、党村委員会から数人参加しました。

村長は、「原電に言べきと考えられることは言うていく。十分検討します」と述べました。

原電は、「来年度中には計画をスタートしたい。いただいた内容は、技術のほうに伝えます。反映出きるのではと考えられそうなこ

ともありますので、十分検討します。住民の安心に繋がるよう取り組みます」と、述べました。